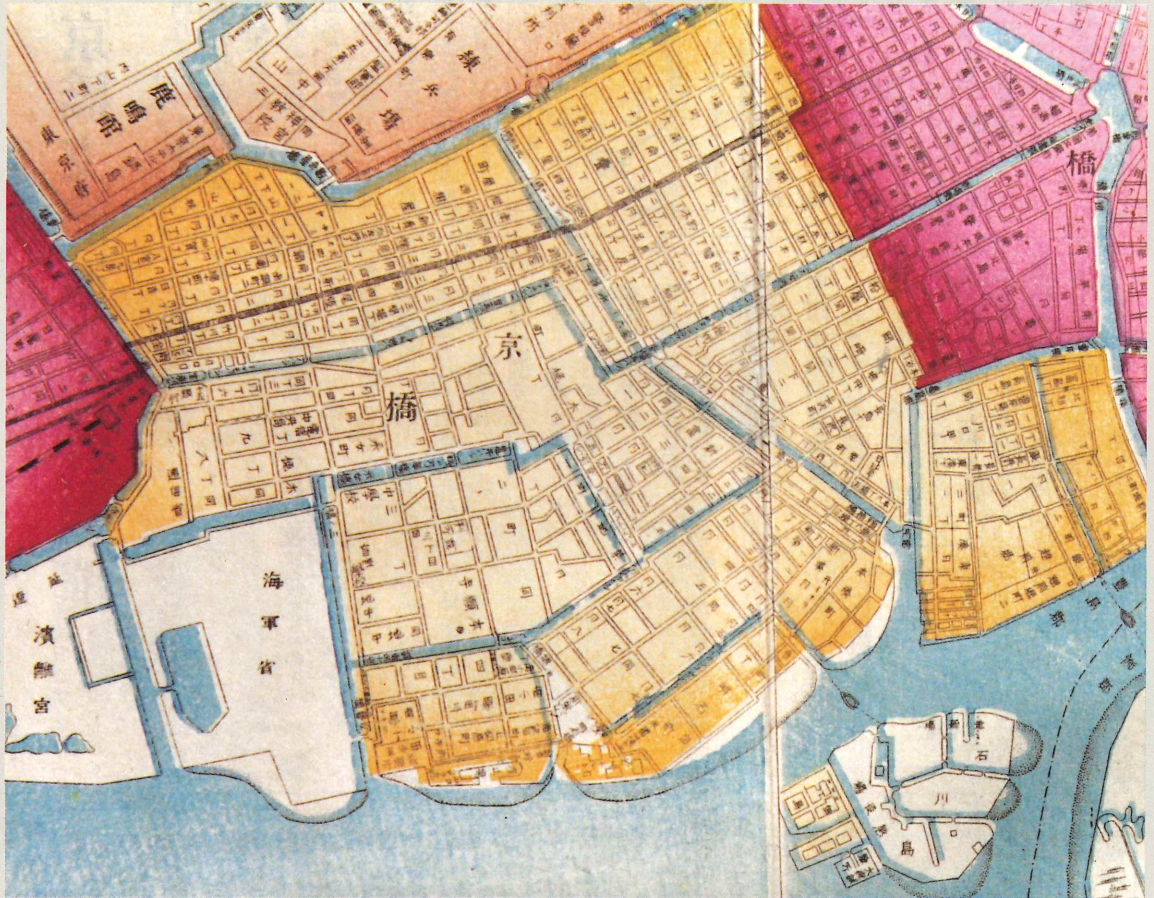


京橋の印刷

5月15日1983・No.48

東京都印刷工業組合京橋支部
〒104 東京都中央区新富1-16-8
日本印刷会館3F 電話 552-1855
編集 新保 義人
中村 憲吉



表紙のことば

築地地区
土井印刷欄
土井 嘉光

上掲の京橋の市街図は今を去る94年前の明治22年のものです。現在の京橋駅のところに鉄道局の文字が見えます。丁度この年に鉄道局の新橋工場が建造され、新しい交通機関としての鉄道の建設が緒についた時期でしょう。

明石町には米国公使館があり、地図上方に鹿鳴館が見えます。魚河岸は海軍省、月島はまだ生れておりません。

黒くぬられたのが銀座通りです。銀座—瓦斯燈—煉瓦通り—人力車。映画の無法松やオペラの蝶々夫人が丁度子供？の頃の京橋の街です。

「お嫁に行くなら自転車と電話のある家」といわれた時代よりもひと昔前の京橋です。

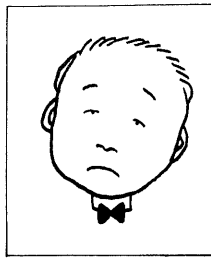
58昭和 京橋支部通常総会開催

昭和58年度通常総会は、四月十五日午後四時より印刷会館七階講堂に於て開催されました。

当日は折悪しく朝からの雨で組合員の出席が心配されましたが、幸いにも多数の参加を得、来賓及び報道関係者を含め約90名を数えました。

畑井副支部長の司会のもとで、開会のことはとして新保副支部長が、来賓・組合員への出席に対し、謝意が述べられ、続いて、児玉支部長より、次のようにあいさつが行われました。

「昨今は経済状態も非常に悪く暗中模索でございましたが、聞くところによると、石油事情が良くなり、今年は多少とも景気は上向



くといわれており、期待しております。今年の一年間は昨年を振り返りながら一所懸命に頑張っており、支部事業を更に充実させてゆきたいと思っております。」

引き続き児玉支部長を議長とし、議事に入り、順次一号議案より進行がなされました。

- 第一号議案 昭和57年度事業報告
- 第二号議案 昭和57年度収支決算報告
- 第三号議案 同 監査報告
- 第四号議案 昭和58年度事業計画
- 第五号議案 昭和58年度収支予算

以上が審議され、いずれも原案通り承認されました。

最後に本部役員選任制による定款変更に伴い第六号議案 支部規約改訂委員会の設置について

が提案されましたが、執行部一任となり次の七名の委員の名前が発表されました。

- 本部常任 石曾根相談役
- 児玉 支部長
- 土井 副支部長
- 新保 副支部長
- 金山 副支部長
- 瀬戸 監査役
- 尾島 京橋地区長

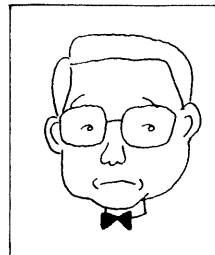
以上で議事はすべて終了いたしました。

来賓祝辞

東印工組副理事長

山岡 景恭 殿

『昨年中は本部の運営にご協力を賜り、ありがとうございます。支部決算書を拝見いたしますと、生命共済手数料の予算が二百万円



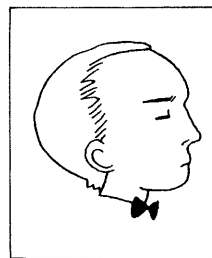
でしたが、決算では二百五十万円、約二割五分増の共済加入をいただいたということで、日

頃の本部運営に物心両面に亘ってご協力をいただいておりますことを改めてお礼申し上げます。本部の今年度の方針といたしましては、昨年来の業界不況を克服するために、企業の内と外すべてに亘って総点検運動をやっていくとうことです。児玉支部長を始め京橋支部組合員のみなさんの力強いご助力を、今後ともよろしくお願い申し上げます。』

中央区商工課長

深沢 直人 殿

『自助努力ということばがありますが、昨今のように社会の変動が激しく又、情報の飛びかう状況にありますと、自分の会社、自分の殻にだけ閉じこもっていたのでは、全体の流れを把握することは困難です。そこで、京橋支部や工団連の組織を活用してゆかれてはどうでしょうか。』



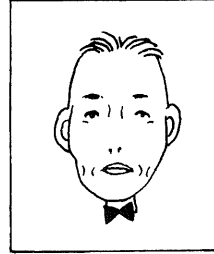
昨年みなさんの多大なご協力をいただいて開催しました「工業文化展」はおかげさまでおまして、大成功だったわけですが、先般ある父兄の方から、今年の文化展はいつか、子供達も楽しみにしているし、教材としても有意義だと思いが……と質問を受けました。今年は、計画はしてありませんが、このこと一つをとりあげまして、ただ単に、一工業団体の行事ではなく、社会的使命を果すべきであるというように再確認をさせていただいております。

今後とも、ご助力を支部のみなさんにいただかねばならないことが多々あると存じます。どうぞよろしくお願い申しあげます。』

中央区工団連会長

池宮 義久 殿

『昨年の「工業文化展」には京橋支部のみなさんに大変なご協力をいただき、この席をおかりして、深く感謝のこゝばを申しのべさせていただきます。又、58年度の予算を拝見いたしますと、開催予定がないにも拘らず、準備金を計上されており、京橋支部のみなさんの熱意をひしひしと感じさせられた次第です。』

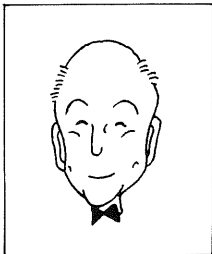


今年度は工団連の行事として、六月十九・二十日に一泊研修旅行を予定しておりますので、是非たくさんの方々のご参加をお願いいたします。そして、常にお互いの活動を通じて、更に発展を遂げたい所存であります。』

京橋支部顧問

花崎 実 殿

『従来景気循環のサイクルは四年周期でありましたが、今度の不況に関しては、国内の景気対策だけでは脱することが難かしい状態が続いております。しかし、最近、前川日銀総裁の景気底入れ発表等もあって、明るさが期待



できるのではないかと、喜んでおります。なんとか全員をそろって、この不況をのりきっていきましょう。』


続いて、新加入組員四社の紹介が行われ、定時総会では中村副支部長の閉会の辞をもって、恙なく終了致しました。

その後、机を並びかえて、各地区別に席を設け、懇親会が行われました。雨上りのむし暑さの中で、支部発展を祝して、乾杯を行い、一同歓談の一時を過ぎました。



「いつも、どいつも」苦労さまでした。」

山桜製品

 株式会社 **山 桜**

本社 東京都中央区築地3-2-9
電話 542-8511 (大代)

工場 東京都昭島市大神町1046番地

支店 神田・中野・五反田・浅草・板橋・亀有
墨田・蒲田・横浜・千葉・大阪

プロセスインキの最高峰

New Champion

Super Apex

 **大日本インキ化学**

すいせんのことば 商品はグッドで値段はピタット。営業マンはスラット会社はハイルック。だから、使いたくなる山桜製品。 新富地区 神林印刷株 神林克明

すいせんのことば New Apex-Gは、使い易さ、鮮やかな色相、すばらしい光沢の三拍子揃ったインキです。 新川地区 伊坂美術印刷株 工場長 辻 景虎

製本は京橋で…

地元

東京都製本工業組合

副理事長 牧野佐武郎

編集部では、今月号の新企画として地元産業では印刷と並んで大きな割合を占める製本の京橋支部から寄稿していただきました。印刷業界と同じく製本業を営む方々にとってもこのところの不況は、たいへん苦しいようです。関連業者として、また直接仕事のつながりを持っている方もいらっしゃるでしょうし、製本組合京橋の現在、そしてこれからというものを一緒に考えてみたいと思います。

京橋製本業界の歩みと現状

ここ数年前までは印刷業界と製本業界は車の両輪の如く不離一体の関係にあって恰も種子と実、身と影の如く、印刷業界が繁栄の途を歩めば、吾が業界も概して活況を呈し、印刷業界に不況の風が吹いている間は、同様に底冷えに悩むのが、出版物製本の少ない京橋の製本業者の姿でありました。

ところがここ数年前からこの均衡が崩れ始めました。GNP世界第二位まで発展、肥大化する日本経済に焦点を合せ、印刷産業界はいち早く技術革新と相呼応して、設備の増強に取り組み、これに加え第一次構造改善事業の目玉である、ホットからコールドを相言葉に平版へと移行し、時代の要請に应运えました。他方、企業格差の幅を広げることもなりましたが、ともあれ一般的にはスピード化が進み、印刷物の

需要の伸びにすっかりと応えてきたのは確かです。

この時分製本業界、特に我が京橋製本業者の平均的傾向に限って考えてみると、機械化すると言っても、印刷業のそれとは比較にならない程立ち遅れをみせ、製本業者の当面する立地条件には恵まれず、戦前の手作業時代の狭い工場のみままで設備増強もままならない事もあったが、印刷物の需要の増加に対応し技術革新の波について行く努力に欠けた事は認めなければならぬ。勿論組合員の中にはいち早く将来を洞察し先見性を発揮して工場の拡充と共に受注の増強につとめ、時代に即応する者もなかったわけではない。

印刷物はもの言わぬ生きもの

何れにしても、先行投資する印刷業者とは既に心構えで立ち遅れをみせ、得意先の注文に応

じきれず、納期に間に合わないものすらありました。然し印刷物は納期厳守が生命で製本日程に合わせる訳にはゆかず、得意先はツテを頼りに納期に間に合う製本業者に発注を余儀なくされた。それでも京橋地区の製本業者は、料金が安いから他地区に流出するものと錯覚していたのではないだろうか。勿論料金の安いものもあるだろうが、作業能力のある製本工場を選ばれた事も見逃す訳にはいかない。仕事が連続して受注出来れば結構安いコストで採算もよくなり、他地区の業者にとっては好条件となる。一方京橋にとっては仕事が少くなり勢い原価も高くなり、料金にはねかえらざるを得ないという悪循環につながった。そして今日に定着した京橋の製本の姿があるのではないだろうか。この様な中にも、京橋において充分お得意さんを守り続け、受注を確保している事業所もあるのは先づ現時代に即応した設備とすぐれた品質の製本を続け、お得意様の信頼を得ている為であろう。

学ぼう経営の心を

いつの時代にも優れた経営者は、得意先の心を心として製本している。得意先と共に一緒になって印刷物を仕上げる心構えの製本業者は、極端な仕事不足に悩むことはないであろう。

そこで、不況が定着した今日になって始めて、何とか京橋の印刷業界の仕事在京橋に引戻すことはできないものか？これを切望する声が高まってきた。けれども、ひと度他地区へ流れた仕事を引戻すという事は並大抵の事や、尋常一

様のことでは戻って来ない事は明白である。それなら仕方がないで済まされるだろうか、いや如何に困難が伴っても、たとえ日数を要しても、京橋に仕事を引き戻さなければ生き残ることが出来ない。

然らば如何なる手段ありや

今日では遅いかも知れない。しかし今日の状況を謙虚に反省し、地道に得意先の再開拓を実行すべきでありましょう。一度あけた穴を元に復する努力は当然しなければいけない。そしてその上に我社に仕事を引き戻す信頼を積み上げねばならないのであるから、その覚悟は当然のこと、それを態度で示し、実績を積み重ねるならば「至誠天に通ず」とやら、やがて京橋地区内に仕事を引き戻す事ができるであろう。

とは具体的手段ありや

☆第1点 経営姿勢の改善である

製本業は製造業のようにみえるが、材料支給の受注形態で印刷物を加工する業種で、加工する手間賃を売っている。つまり技術を加味したサービス業である。豊かな経験と最新の技術を駆使し、最良品を造り上げ、得意先に喜びと無形の利益、つまり無意識の中に安心を売らねばならない。その心の中に奉仕の念も含まれ、専門的立場で意見を述べる事も必要なことである。

☆第2点 高品質の安定納品である

印刷物は用途に応じ目的に合わせ、常に最良

の製品を納入する事が信頼を得る第一歩である。A社では、関係する協力会社数社の従業員の仕事レベルをアップ・定着させる為、年二回集合教育を行ない、品質の均一化を徹底し、A社の規格に追いつかぬ協力会社は発注を差し控える等、厳しい品質管理教育を実施している。製本業界、特に京橋の如き仕事の交流を図らねばならない組合では、品質の均一化安定の為、作業基準を制定し、自らの技術向上を期さなければ生きる途が閉ざされるであろう。

☆第3点 納期の厳守である

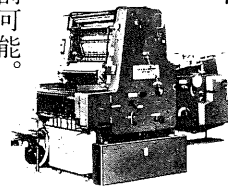
印刷業界は今や大手とは勿論のこと、中小同業者間においても熾烈な競争の中にある。安定した納期の確立はその第一歩と考えられる。その為には印刷の特性・用途をしっかりと理解し、印刷以前の時点から製本する立場で、製本作業にロス時間をなくし如何に迅速で確実な製本が出来るか助言し得る態勢をとることこそ必要であろう。その為には製本京橋支部こそって、具体的に実行する方策をたてるべきと思う。その試案を申し上げてみたい。

製本教室の開設

京橋製本組合員は勿論、京橋の印刷組合員を含め何時でも、どなたでも製本について気軽に相談できる教室を開設したらどうだろう。早くする為、きれいに仕上げる為、接着剤は何がいいか、どう使うか、そして如何にしたら製本料金が安く仕上げられるか等々、よい品質のものを納期に間に合わせる手段について応えられ、

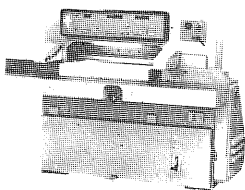
ハイデル情報

ハイデル単色Mオフセット機
菊半裁判 四八〇×六五〇%
最高速度八千
毎時。ナン
バリング、
刷り込み、
ミシン目
入れ、二分割可能。



ポラー情報

ポラー九二EMC断裁機。
最大断裁幅九二cm
マイクロナ
ンピュータ
搭載の新高
速断裁機。
積紙高土cm
重量二六〇kg



印刷機械貿易株式会社

香里本社 大阪府寝屋川市豊里町一四
電話〇七〇三三二〇四一
東京事業部 東京都品川区南大井三二一四
電話〇三二七六三一四一四一

すいせんのことば 機械の材質がよいせいか故障がないので予定通り作業できて助かります。それにシリンダーが大きいので刷上りのよいにも満足しています。約束した時間には必ず来てくれるのも、サービスが行き届いているからでしょう。

製本技術・作業交流センター

その手助けのできる、同業者・御得意先から重宝がられる制度をつくるべきと思う。幸い当支部には品種別に部会制度があるので、この制度を活用することが賢明な策と思われる。

製本京橋支部事務所に製本教室センターを設け、同業者間の技術水準の向上及び製本作業の交流を図り御得意様からの照会窓口とする。部門別には、

○書籍製本部会長 岸田製本紙工業(株) 岸田俊辰 (551) 1603

○雑誌製本部会長 文栄社製本所 齊藤 文 (552) 3078

○事務用製本部会長 (旬)法月堂 法月邦美 (551) 4308

の三氏が中心となって窓口の責任者となる。そして各々の部会員と密接に連絡をとり、技術の振興と交流を図ることにしたい。

製本作業には得手、不得手があり、専門的技術が各所に生かされて、始めてよい印刷物に高い商品価値が附加されるものと思います。その専門事業所を部会毎にまとめましたので是非活用して下さい。以下の名簿に記載されない品種類、例えば軽印刷向きの製本、手帳及びこれに類する製本、絵本、ノート紙製品、和本、経本、或いは本の合本、修理等については、製本教室センター(551) 3783・0114に照会して下さい。下されば専門業者を紹介いたします。

●紙 裁

- (旬) 平野紙断所 湊 五二一〇二九
- (旬) 東京渡辺紙断所 " 五二一八三三
- (旬) 大和紙工 新川 五二一六五六
- (旬) 三岳紙工所 " 五二一八七三
- 東海紙工(株) 八丁堀 五二一五七三
- (旬) 清進堂紙工所 新富 五二一三〇三
- (株) 吉田忠作商店 新川 五二一四六二
- 生稲紙工業(株) 入船 五二一五三〇

●紙 折

- (旬) 鈴木製本所 湊 五二一〇四九六
- (旬) 永野紙工 " 五二一三七六
- (旬) オリホン坂本 " 五二一〇九三四
- (旬) 鬼原製本折本所 " 五二一九五五
- (株) 博 旺 社 " 五二一六六七
- (旬) 原田綴本所 八丁堀 五二一八九九

●青図製本

- (旬) 小松 製作所 八丁堀 五二一三四八

●箔押し

- (株) 小暮製本箔押し所 湊 五二一九〇六五
- (旬) 下羽箔押し所 新川 五二一三四七

●通帳製本

- (株) 山本製本所 江東区福住 六二一二五九九

●帳簿製本

- (株) 国弘印刷紙工 新川 五二一五三三
- 横山印刷帳簿紙工所 八丁堀 五二一五五一
- (株) 文 誠 堂 " 五二一五三六
- (株) 安藤帳簿印刷 銀座 五二一七三九
- (旬) 小林帳簿製造所 新川 五二一七二五
- 井上帳簿店 八丁堀 五二一八九三

●表紙貼

- (旬) 猿谷製本所 湊 五二一〇六一三
- (株) 文 栄 堂 新川 五二一三七八一

●抜紙工

- (株) トーコー紙工 新川 五二一五四二

●教科書

- (旬) 栗原製本所 八丁堀 五二一四六九

●書籍製本

- 石川製本所 湊 五二一六〇七
- 岸田製本紙工業(株) " 五二一六〇三
- (株) 長山製本 新川 五二一四九七六
- (株) 谷島製本所 " 五二一〇七七
- (旬) 笠松製本所 " 五二一三二四
- (旬) 染野製本所 入船 五二一三五八
- (株) 中条製本工場 " 五二一八七六一
- (旬) 金崎製本所 " 五二一四三二

●雑誌製本

- (旬) 正文社製本所 湊 五二一九七七
- (旬) 小川製本所 " 五二一〇四三
- (旬) 窪島製本工場 " 五二一五六一七
- (旬) 小柳製本所 " 五二一八五五
- (旬) 八重洲製本所 " 五二一八五〇〇
- (旬) 文 栄 社 新川 五二一三〇七八
- (旬) 松木製本所 " 五二一三三六
- (旬) 酒井製本所 " 五二一四五四
- (旬) 建栄製本所 " 五二一五〇二
- (旬) 昌栄製本紙工所 " 五二一〇八〇四
- (旬) 関口製本所 " 五二一三三三
- (株) 山常製本所 " 五二一五九三
- 勝井製本所 八丁堀 五二一四三三

●事務用製本

油矢製本所	八丁堀	五二一四五三	大同紙工品工業	湊	五二一四三四
西野製本所	"	五二一五七八	鈴木製本所	"	五二一三五三
清美堂製本所	"	五二一五八三	山田製本所	"	五二一四六九
大田製本工場	"	五二一四六〇	木村製本工場	"	五二一四三九
吉田製本所	新富	五二一〇八一	旭紙工製本所	"	五二一七六五
清水製本所	"	五二一九〇五	誠文社製本所	"	五二一二八一
国島紙工所	築地	五二一〇四六	長尾製本所	"	五二一三五七
松喜製本所	入船	五二一四六八	同文社	"	五二一六八七
砂岡製本所	湊	五二一四七九	青柳紙工所	"	五二一五二六
勝又製本所	"	五二一六四五	新興社	"	五二一三七二
丸中製本所	"	五二一〇一九	明石製本所	"	五二一五八六
北川紙工所	"	五二一〇六五	磯部製本所	"	五二一九四五
杉沢製本所	"	五二一三五四	大浪製本所	"	五二一四七七
永倉製本所	"	五二一三七四	寺島製本所	築地	五二一二七九
佐美紙工所	"	五二一四三〇	米沢製本所	月島	五二一二五九
今村製本所	"	五二一〇七四	川島印刷製本工場	"	五二一七八九
松本紙工所	"	五二一〇七九	東洋製本所	"	五二一七六四
山一製本所	"	五二一四三三	野沢製本所	佃	五二一八二八
藤栄製本所	"	五二一〇六三	春光紙工	新川	五二一五八四
大塚製本所	"	五二一〇二六	竜洋堂製本所	"	五二一六五七
片山印刷製本所	"	五二一〇八二	新光堂	"	五二一三五七
田製本所	"	五二一五六五	博伸社	"	五二一四五六
博新社製本所	"	五二一三六〇	佐藤製本所	"	五二一七〇四
城所紙工	"	五二一七八四	川崎製本所	"	五二一六五五
寿製本所	"	五二一三五四	尻製本所	"	五二一八四八
幸栄社	"	五二一九七五	江藤製本所	"	五二一五五三
佐々木製本所	"	五二一八五三	光栄社	"	五二一九七四
中村一精堂	"	五二一八五六	深石紙工所	"	五二一九八一
いわき紙工所	"	五二一三六九	東京益社	"	五二一三六三

1枚の封筒にも

大きな使命が

かせられています。

対話へのかけ橋

山口封筒

本社 〒104 東京都中央区八丁堀2-2-7 電話(551)1151代
工場 〒132 東京都江戸川区西端江4-21 電話(652)7721代

すいせんのことば 山口封筒さんは納期正確、トップの指導が良く営業部社員は非常に仕事熱心で責任感が強い。

八丁堀地区 株式会社三田村印刷所 三田村桂太郎

泉製本所	植田製本所	金柳製本所	中村製本所	文星製本所	小串製本所	村松製本所	法月製本所	豊製本所	共正社島佐製本所	優光製本所	大徳製本所	辰巳屋紙工	廣田製本所	長光堂製本所	吉添製本所	信濃製本所	須藤ノンブル	アキ紙芸	府川製本所	至誠堂紙工	松谷製本所	大貫製本所	優英製本所	大立製本所	佐藤製本紙工所	細瀨製本所		
"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	新川	
五二一四六二	五二一四七一	五二一四九七	五二一五〇〇	五二一五〇五	五二一五〇八	五二一五一一	五二一五二六	五二一五三〇	五二一五三二	五二一五三七	五二一五四〇	五二一五四五	五二一五五〇	五二一五五五	五二一五六〇	五二一五六五	五二一五六九	五二一五七四	五二一五七九	五二一五八四	五二一五八九	五二一五九四	五二一五九九	五二一六〇四	五二一六〇九	五二一六一四	五二一六一九	五二一六二四

●事務用中綴製本

松倉製本所	もがみ紙工	渡辺製本所	共立紙工所	豊田野線印刷	金子紙工社	高須製本所	北信社丸山	中村製本所	半沢製本所	福田製本所	岡本製本所	窪島紙工所	岡田製本所	大橋製本所	新井製本所	順光堂製本所	正光堂酒井製本所	常木紙工	銀座駿河製本所	勇進堂紙工所	進栄紙工	齊藤紙工	松進社製本
八丁堀	"	"	"	"	"	"	"	"	京橋	八重洲	新富	"	"	築地	"	銀座	"	"	湊	"	"	"	八丁堀
五二一〇七六	五二一〇八一	五二一〇八六	五二一〇九一	五二一〇九六	五二一〇九九	五二一〇一〇四	五二一〇一〇九	五二一〇一〇一四	五二一〇一〇一九	五二一〇一〇二四	五二一〇一〇二九	五二一〇一〇三四	五二一〇一〇三九	五二一〇一〇四四	五二一〇一〇四九	五二一〇一〇五四	五二一〇一〇五九	五二一〇一〇六四	五二一〇一〇六九	五二一〇一〇七四	五二一〇一〇七九	五二一〇一〇八四	五二一〇一〇八九

《輝き》と共に生まれた、最高級オフセットインキ

TOYO KING

Bright

色彩と印刷のあすを考える

東洋インキ

本社/東京都中央区京橋2-3-13 ☎03(272)5711

印刷製本が支える 組合給食

事業主と従業員の栄養源

健康を守る

給食センター

中央厚生事業協同組合(551)4909

理事長 清水 栄之助

◎ご利用をお待ちして居ます

すいせんのことば 昨今はトータルスキナーの開発・実用化を計るなど、我業界発展に尽くしてくれており、その努力に敬意を表する。

新川地区 (株)久栄社印刷所 田島一弥

すいせんのことば 栄養のバランスもよく、おいしさの中に「お袋の味」を加味した中央厚生の昼食はいつも満点の味です。

湊地区 聖文社印刷(株) 田島 弘

“ちよろぎ”連載にあたって

湊地区 榎蓬菜屋印刷所

森山 道太郎

埋め草に使っていただいてもと差上げた本が、
図らずも貴重な支部報の紙面をさいて、皆様のお目にふれることになりました。

そもそも活版端物を主体とした小社が、何故この様な本造りを行なったかと申しますと、昭和三十三年、当時PR誌という言葉が出はじめた頃、印刷所のPR誌を作ってみようという話
がもちあがり、小冊子を出したのが始まりです。
誌名は和帳製本をしていた頃の家業を偲んで

「帖面」としました。多分に実験的な試みを行い、
毎号変わる表紙の絵に合わせて材質を選び、
執筆者も多彩な顔ぶれで、小さな随筆に原色版
写真版を盛込んだものでした。

そのうちに私家版を受注するようになり、本
造りを商売にするならもっと勉強しようという
ことで、「帖面」の後記に連載したものに新稿を
加え自社出版したのが『ちよろぎ』という訳で
す。著者は私の義兄で湊町生まれ、支部報第13
号に「銃洲雑話」、第29号に「於岩稲荷」と寄稿
したことがあります。

以下造本データを記しておきます。

特装Ⅱモロッコ革装・天金・見返し手彩色・
本文紙／機械局紙・活字／本文九ポ(注八ポ)
一八〇頁・二色刷・貼函入

並製Ⅱ和紙装・本文紙／新鳥の子・軽装函入

その後一般商業印刷のかたわら出版相談の窓
口を設け、装幀・編集を含めて限定詩集、詩画
集、豆本、随筆集などと本造りを行なってまい
りました。

併し乍ら、こうしてかたくななまでに、手拾
い植字方式を続けて来ましたものの、昨今のメ
カトロニクスの波に対処するため、いろいろと
模索している処であります。

『国会図書館報』での『ちよろぎ』「紹介」(江
戸っ児とか下町育ちといえば、とかく勇み肌の坊
っちゃんを想像するが、事實はそう単純なもの
ではない。温和にいつも顔に笑みを失わず、かとい
って決して軽薄でなく、挙措に一定の節度を保ち
つつ人に接する大店の若主人然とした型のすくな
くないことは、この大都会に生息すれば容易に周
囲に見出して気付くことである。

まだ見ぬ人ながら、この著者も又ごたぶんにも
れず前述の型の一人たるを失わないようである。

「震災の前々年、中学生になって」とか、「昭和
六年の春、大学の本科に進級した」ぐらいいしか自
分の年齢・家業につき記すことない著者にとって、
この一冊にもっぱら愛惜するのは、その幼少から
青春期を過ごした明治末から大正期いっばいにお
よぶよりよき時代の東京であり、帝都水辺の情景
への回顧である。永く京橋区湊町と呼ばれたあた

り——清方の画で知られた明石町に隣し、佃島と
越前堀を対岸とする隅田川べりの一趣——に成長
した著者の回顧はあざやかに、江戸から東京へと
発展してきたこの大都会の断面と、そしてその中
で、ひっそりと時代の進展にさからわずに順応し
ていった市井人の日々——それはまさに久保田万
太郎の作品のような世界を描き出している。一々
の事実を引く余裕もないが、演劇や文学の辞典、
人名録にわずかに名を見せた人々の横顔をもいき
いきと伝えた随筆集である点、明治大正期の風俗
資料としても寄与するであろう。書名はいままで
もなく、正月のおせちを彩る『しそ科の多年生植
物』を指している。▽

「編集部から」

加藤寛さんの講演の連載が終り、
何か読みものとしての要素のある
連載物ということで探していまし
たところ、森山さんのご好意によ
り、この本をお持ちいただき今月
より連載することになりました。
年配の方々にはなつかしい下町
の姿を思い浮かべられることでし
ょう。又、昭和生まれの方には昔
の東京の風情を知るのにこの上な
い随筆です。京橋地区になじみの
多い部分を中心に連載していきま
す。お楽しみに……。
なお、なるべく原本の感じをお
伝えしようと、そのまま原寸撮影
にしました。

ちよろぎ

正月の食積くいづみの中になつかしいものが一つある。甘く煮つめた黒豆の中に、千切の凍豆腐などといりまじつてゐる西洋象棋の駒みたいな、紅や白のちよろぎである。

梅ぼしを薄味にしたやうな歯ざわりのよい一種の地下茎だ。甘い黒豆より、子供の頃はこれが好きだった。ほかのものは大抵家の手作りだったが、黒豆だけは弾正橋*西詰の川村与兵衛と言ふ有名な漬物屋へ買ひに行かされた。大晦日が間近になると、それが毎年私たち子供の役目であり、わが家のしきたりであつた。重箱の風呂敷包をさげて、門松の笹のざわめく師走の町を歩むのは心たのしかつた。紺暖簾の濃かつたその漬物屋は震災でなくなつてしまつた。弾正橋の下を流れてゐた楓川と言ふ可憐な名前の堀割も、数年前、無風流な高速道路に姿を変へた。橋だけは震災にも焼け落ちず、今は陸橋として残つてゐる。その下を水ならぬ影しくるまの列が流れてゐる。明治九十九年の年頭にふと思ふことはこんなことである。

初春の枯草山をくだる人礼者かもむらさきの包みをもちて

佃島

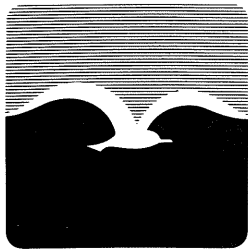
新しき駒下駄はきてわたりゆく佃小橋を年のはじめに
汐入りの堀にひしめきかかりおる小舟おのおの松飾りせり

*ちよろぎ(草石蚕)しそ科の多年生草本。中国原産。高さ約六〇糎、茎は方形。全株に粗毛密生し、秋に紅紫色の唇形花を開く。地下に奇形の巻貝状の塊茎を生じ、食用に供する。

*弾正橋 東京都中央区にある橋。京橋柳町と本八丁堀との間を流れる楓川に架かる。もとの近くの旗本島田弾正邸に由来する。楓川は弾正橋の下をくぐつて間もなく八丁堀に合流する。

爽やかにあざやかに

気品ある白……



CCP ニューホワイト

十條製紙

本社 東京都千代田区有楽町1-12-1(新有楽町ビル) TEL (03)211-7311 千100

和・欧文 活字

材料 / テープ・メタルベース 他

インキ / 阪田 大日本 東京 東洋 各

和・欧文 各パンフレットあります



株式会社 京橋岩田母型

551 - 1380・2830・(店頭)2827

すいせんのことば 十條製紙の製品は安定性・作業適性など優れており安心して愛用している。

新川地区 三好印刷株 三好 徹

すいせんのことば 平版部門諸材料の取扱いも一層強化され、又新製品開発は京橋岩田母型の看板です。御利用をおすすめします。 入船地区 光信印刷(株) 武村健司

初空に網たかだかと干し並めてつくだの小島とし迎へたり

佃の渡が東京市に移管されたのは大正十五年だが、それ迄は私営で渡し賃一銭だった。更にそれ以前大正五、六年頃は五厘だったと記憶する。五厘渡とも呼んでゐた。

市営以前には手こぎの和船が使はれてゐたので、閉鎖当時のやうな堅固な棧橋も台船もなく、田舎の渡船場と大差ない木造の粗末なものであつた。河岸に近く掘立の小屋があり、その一間ばかりの低い窓が切符売場になつてゐた。状差様の小さな台に、上部に孔のある小さな木札がきちんと重ねて差してあつた。

木札には焼印が押しあつた。焼印の文字は「佃之渡」。皆手垢で古びてゐた。いつも老婆が二人代り合つて窓際に坐つてゐて銅貨を出すと木札を渡してくれた。

舟のとももの所に、蜜柑箱ほどの木箱が置いてあり、木札をその中に投げ入れて舟にのり込む仕組になつてゐた。舟縁に細い鉄棒の手すりがありつけてあつて、舟がゆれると乗客はそれにつかまつてゐた。

こどもの頃、正月の三ヶ日には佃の住吉様へ一度は詣つたものだ。明石河岸から眺めると、佃の上の初空はおだやかで、何とも気持ちのよいものだつた。日頃は二本マストの蒸気船で埋つてゐる広い河面も、正月ともなると、近国の船々はそれぞれ故郷の港で春を迎へるらしく、一斉に姿を消し、河面にまばらに碇泊中の船も皆ひっそりとして、甲板に人影も見えないのが如何にも初春らしかつた。

住吉様の青銅の大鳥居が新年の朝日のゆらぐ河波の彼方に浮んで、大川口の象徴のやうに思はれた。こんな時、岸を離れて河面にすべり出した渡船の上で、ほのかに汐の匂ふ凜烈たる一月の河風が、少年の心を、いつも強い感動で引緊めたものだ。

小さな物から・大きな物まで
いつでも・どこへでも

運 梱 発 保
送 包 送 管

渥美運輸株式会社

東京都中央区入船2丁目9番3号

☎(552) 3771 (代表)

家庭的なムード!!

ご宴会、ご商談にご利用下さい

割烹 久 通



中央区築地1-5-5
(京橋図書館ならび)
☎541-6878
542-7593

すいせんのことば 親切で小回りがきく、注意のいきとどいた運送会社として利用しています。

新富地区 日本精版印刷(株) 中村憲吉

すいせんのことば “かし”の地元。新鮮な料理を手頃な予算で……。気楽にどうぞ。

新富地区 日本精版印刷(株) 中村憲吉

文字組版の最新設備を導入 (その2)

銀座地区 (有)三青社

「ホットタイプよ、さようなら、コールドタイプよ、こんにちは」と言われた時代が何か遠い過去のように思われる現在ですが、文字印刷はまだまだ活字でなければ、といわれる面があります。活字による文字の力強さや、作業の簡便さ等々、印刷百年の歴史を現代まで続かせる何物かがそこにある訳です。しかし世の中は技術開発と生産性から着実にコールドタイプ化に移行しているのです。清打タイプ、写真植字、大型コンピュータによる電算植字等、今まで印刷組版の反主流であったこれらのシステムが、今や主流となるべき時代を迎えたのです。

編集部では前号で、「三好印刷機、ワーデックスを導入」を掲載しましたが、今回は銀座地区の(有)三青社(竹内喜夫社長)が、昨年11月に機モトヤの新製品の活字インパクト式ワードプロセッサWP-6000を導入されたので、その導入のいきさつや、その後の作業実績、そして現在の心境などをお聴きし掲載することにしました。



竹内喜夫社長

まず竹内社長に導入決定の経緯を語っていただきます。

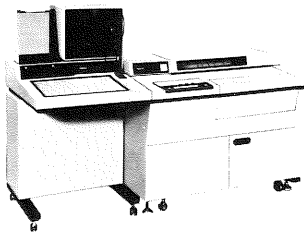
「本年度創業三十周年を迎えますが、活版印刷が印刷方式で一番優れていると確信しておりました。また得意先もその技術を評価して価格や納期も考慮してくれた時代がありました。しかし、現在は価格も納期も以前と比べ厳しくな

り、活版、活版といっておれなくなり、コールドタイプ化の方向に少しずつ頭を切り換えていく中で、ワードプロセッサの存在を知った訳です。

でも残念なことにOA機械として造られたワードプロセッサは、印刷業者、とりわけ活版業者が使用できるものではありません。組版ルールや文字品質を無視したこれらの器械は、今まで培ってきた印刷文化を否定するものであり、印刷業を根底から覆す何かを持っているのと感じました。Y社の活字式ワードプロセッサを展示会で見学した時、ドット文字ではなく活字インパクト式ということで、期待して版下を見た時、活字の組版には及びもつかないソフト

豊富な組版ソフトが付加価値を増大する!

電子編集組版機 WP-6000



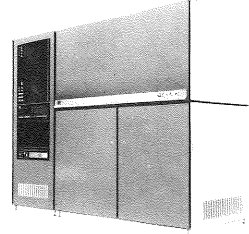
コンピュータに豊富な組版ソフトを搭載し、今後の文字組版の主流を形成するモトヤ自信の最新鋭機です。

御社も、業務の質の向上による付加価値の増大を達成なさいませんか。

株式会社 モトヤ

大阪 大阪市南区南船場1-10-25 ☎(261)1931 ☎542
 東京 東京都板橋区中丸町10 ☎(959)0123 ☎173
 福岡 福岡市博多区古門戸8-7 ☎(291)8605 ☎812
 横浜 横浜市中区神戸 船路 熊本

電算植字機 ビデオジャムシステム



すいせんのことば 何よりも嬉しいことは、印刷のことをよく知った上で、こちらの身になって相談にのってくれることです。特に、私共の会社にこまめに足を運んでくれる営業マンの堀内君は、なかなかの好人物で、熱意がひしひしと伝わってくる点など、各社の営業の学ぶべきところと言えるでしょう。

湊地区 株式会社大成美術印刷所 工場長 関本明弘



「活版の現業者」二名をまずモトヤの講習に参
 ようにされたのですか。」
 「活版組版をWP16000で処理し、野物・数
 式等WP16000で処理できないものは電子
 組版機MT15000で処理すれば、ほとんど
 全ての文字物版下が可能だと確信し、もうやる
 ところだ、その一念で導入を決定した次第です。」
 「活版組版に比較すると、コストが安くなっ
 たこと。これはただ単に人件費や材料費と考
 算に算入しないものまで考えると、確かに安
 くなっている。銀座といえれば坪〇百万円するわけ
 ですから、活版活字の馬や植字台、ゲラ置きな
 ど、そのスペースは大変なものです。作業環境
 も明るくなり、若手の参加も期待できます。」
 次に差替え等の処理がワードプロセッサの
 機能で十分に対応できることで納期の短縮を
 することが可能になったことです。実際使用し
 ていますのは、ハードウェアも大切ですが、
 ソフトウェアが充実していなければ私達印刷
 業者がワードプロセッサを利用してもメリッ
 トが少ないと思う。例えば活字の書体や種類に
 始まって、組版ルールまでフォローしてくれ
 てこそ印刷組版用ワードプロセッサといえるの
 ではないだろうか。本年一月にこのWP160
 00を導入した会社の社長さんやオペレータ
 ーの方々が一同に会して組版研究会を発足させま
 した。積極的な意見が続出し、大変盛り上った
 会でした。さぞかしメーカーも驚いたことでは
 しょう。なぜかといえ、メーカーが考えていた

加させました。一名はWP16000、もう一
 名をMT15000と。講習を修了し、今度は
 社内です。操作は思ったよりも難しくな
 く、一ヶ月余りで一冊の本を仕上げてしま
 した。」
 導入後の実績や、又、苦労話をお聞かせ下
 さいませんか。

紙の心をお届けする

HAGA

HAGA PAPER CO., LTD.

株式会社 芳賀洋紙店

本社 / 東京都中央区新川1-25-7
 〒104 Tel. 03 (552) 9251 (大代)

杉並・仙台・高崎・名古屋・大阪・福岡

名はカ封カレンダー

刺き筒

業界のトップメーカーで
 全国で一番よく使われている!

TRADE (RT) MARK

ハート株式会社

東京東支店 135 東京都江東区冬木15番10号
 電話(03) 641-1153番

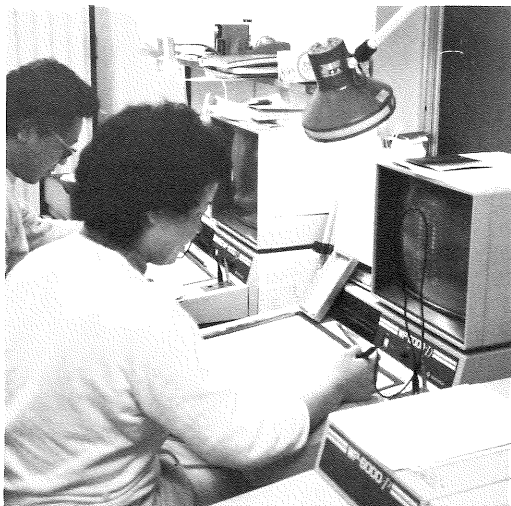
東京西支店 166 東京都杉並区高円寺南2丁目37番4号
 電話(03)316-2151代表 4番

東京南支店 140 東京都品川区東品川3丁目26番4号
 電話(03)450-1911代表 4番

東京北支店 171 東京都豊島区要町3丁目14番5号
 電話(03) 959-3131(代表)

すいせんのことば 常にユーザー側に立ってそのニーズ
 に応える供給と開発を社是に「先義後利」の精神を、今
 後も堅持して下さい。新川地区 高千穂印刷(株) 小山英美

すいせんのことば ハート(株)の営業さんは、なかなかの
 商売熱心です。特に若い沢野君は小まめに動き、品質も
 優れています。 湊地区 (株)三和印刷社 市川仁作



以上の実績を上げている会社が多かったことや、ハードやソフトに対する注文等、有意義な会でした。このような会が今後も開催され、ノウハウを利用しあうことが生き残り戦術かもしれないね。

失敗談を一つ。このWPI6000のオペレーターを募集した時の話ですが、素人が経験者かと思った結果、経験者を採用すべく女性求人雑誌のT誌に広告を出したわけです。何名かが応じて面接に来ましたが驚いたことに、もう機種を指定する人が多いこと。例えば私はF社ではないとだめだとか、N社でなければとか、結局は一名も採用できなかった。高い広告費をかけて成果がゼロではいかんともしがたい心境でした。現在は電算植字の入力をしてきた者が一名入ってくれましたので、毎日フル稼働とはいかないまでも休まない程度に動いております。」

最後に現在このようなシステムの導入を検討されている方々にアドバイスをお願いいたします。


「導入後一番心配したのは、ドット文字による校正でした。営業にすれば今までの活字による校正ゲラで問題なかったわけですから、果して得意先がこれで納得してくれるか心配でした。大半の得意先がドット文字による校正を了解してくれました。中には本文8ポイントでは小さくて校正がしづらいという方からは、ゲラの文字が大きくなって校正ミスが減ったと喜ばれました。要するに得意先に納得してもらうことができるか否かは営業の熱意と、他の面のメリットを理解してもらえるかだと思っております。現状はまだまだ問題はありますが、日々勉強して、メーカーに意見を言うように努力したいものです。」

導入を検討されている方へ一言、カタログや甘い言葉に惑わされることなく、自分の目や手で確かめて決定することをお勧めします。決して安い買物ではないのですから。それに将来に通用すべくシステムが完備されているメーカーを選ぶことです。一時的な機械では、この激しい技術革新の世の中、すぐに置いていかれます。歲月人を待たず、です。」

竹内社長より時間の許す限り見学や質問に応じて下さること。京橋支部員の方、是非一度見学されてみてはいかがなものでしょうか。

生産性の「拡大」に 「コニースーパーテン」がお応えします。

毎時1万枚の超高速菊全判オフセット印刷機 2・4・5色機

 **小森印刷機械株式会社**

本 社 東京都墨田区吾妻橋3丁目11番1号 〒130 ☎東京 (624)7161番(大代表)

すいせんのことば 小森印刷機械さんとは30数年のお付合をして居りますが故障が少なく使い易いので助かります。先日リスロン40シリーズを見学しましたが大変な努力と研究をされているので力強く感じました。次期変更の予定機もそれに的を絞って居ります。

湊地区 加賀美印刷株 加賀美 博

入船町と大川と (寄稿)

入船地区 水野 雅生

人は東京に住む処ではないと言う。騒音と公害と無関心で代表される東京は、心まで汚染されてしまうという。地方から上京して来た人達は、東京に働く場所を得ながら春に夏に正月にそれぞれの故郷に喜々として帰って行き年老いた人は当然のことのように山河青い故郷で滋養を得る。東京はこうした人達を受入れ解放しながら長い歴史を綴って来たのである。それでは東京に生れ育ち、この土地で老いて行くであろう「東京っ子」はこの故郷をどのように理解したら良いのだろうか。

私は昭和が二桁に入って間もなく京橋入船町で写真製版業の長男として生れた。八丁堀、築地明石町、鉄砲洲と共にいう処の下町である。その頃このあたりは屋根の低い家並みが点在し雑草が生い繁っていたものである。学校から帰るとカバンを放り出して遊びに行く大川(隅田川)は佃島をはさんで広々と澄んだ水をたたえていた。佃島との間はその頃「只渡し」と呼ばれていた渡船場で繋がれていて、紙芝居のおじさんや鉛売りのおばさんが往き来していた。どうしてそうなったか不勉強で調べたこともないが、この周辺の土地は印刷所が聚落をつくっていったが、ついで、関連業の製版、製本業が軒並にあった。何軒かおきに私にはその頃めずらしかった印刷機の音が響いていた。近所で遊ぶ子

供達は「メンコやペーゴマ」に打ち嵩じて、その数を自慢し合ったものである。今でも時々、夕暮れの路地を散歩したりするが狭い通りの両側には昔のままの植木鉢が季節の花を咲かせ、そのたまたまは40年も前の姿とほとんど変わることがない。家族ぐるみで働いている印刷屋さんは、すっかり代替りしてしまっただが、その日常の行動はさして変わったとは思えない。早朝、近隣を含めて家の前の通りを掃き夕暮れには乾いた道路に打水する習慣は今なお連続と引き継がれている東京下町の風情である。

この土地を故里として根付いている東京人は、ここを大切にすることで生活のゆとりを感じているのではなからうか。夏になっても秋になっても青い山河は旅として受けとる以外に方法はないが、汚染され騒音が高まる東京と言われても矢張りこの土地が愛しいのである。我が国の活字発祥のこの地も今は少しずつ汚れを落とし大川の流れも澄んで来ている。祖父の代から住みつけている土地っ子という自負心はいつまでも失なわれまい。まして父の仕事を継ぎ、その面影を胸に秘めつつ働く人は年々数が減っているだけに余計その思いが強いのである。負けてはられないという心情である。

(株) 水野写真工芸印刷所取締役社長
ミズノ・プリンティング・ライブラリー館長

新しいロゴマークでリフレッシュ。

写真植字

モリタ

大阪本社＝大阪市浪速区敷津東2-6-25 千556 ☎06-649-2151
東京支店＝東京都新宿区下宮比町15-5 千162 ☎03-267-1231
名古屋・福岡・広島・仙台・札幌・高松・鹿児島・明石・横浜



株式会社
大和屋洋紙店

本店／東京都中央区新富1-15-3 千104 ☎03 (551)8281
中野支店／東京都中野区沼袋1-19-15 千165 ☎03 (387)5401

すいせんのことば 王子製紙系列の名門企業だけあって、誠実な営業姿勢は他に類を見ない。信用できる会社だと確信しております。

新富地区 大東印刷工芸(株) 花崎実

すいせんのことば サービスに徹し、技術開発に真摯に取り組む経営理念はすばらしい。今後の限りなきチャレンジを期待したい。

新富地区 正進社印刷(株) 高橋茂

地区だより

八丁堀地区 観桜会開く 4月17日～18日

浮き世にはまた帰らぬや武蔵野の

月の光の影も恥かし

徳川幕府六代将軍家宣の時代に、大奥にあって絶大な権勢をもっていた大年寄絵島が、大奥改革の犠牲となり、江戸をはなれ信州高遠の地へ遠流の途につくおりの句とききおよんでいる。今年度八丁堀地区懇親旅行会は、かねてよりこの絵島ゆかりの地に、観桜の宴を開くべく企画され、花の見頃お天気のように、人出の具合などなど情報を充分に分析検討の上、行われた。

コースレイアウトは、眺望絶佳の高遠城跡にその風に舞う花びらを大盃に受け、紺碧の空と残雪のアルプスを望み、しばし陶然の一刻を過



し、醒めて古刹や史跡に高遠城主内藤一族や絵島悲運のあとを偲び、また暮れては諏訪湖畔に旅情を慰めんとする設計である。十七日私鉄ストの心配も、雨模様と重なり重苦しい気持であったが、天候はやはりたがわず、夜来の雨は止まず、定刻八時三十分の出発にも花は無情に散っていないだろうか、互いに顔に出さぬも晴れぬ心であった。がバスは来り心地満点、車中のサービスも添乗員は長年のおつきあい幹事も言うことなく、霧の中央自動車道を一路諏訪南尾へと向かった。

コースは前書きと異なり、何にも見えない白樺湖でたいして美味しくもない昼食、諏訪大社参拝（企業繁栄家内安全不老長寿を祈る。それにしてはお賽銭が？）、諏訪の浮城と呼ばれる高島城を見学、雨上がりの湖面を眺めながら湖畔の宿へと入る。

道中視界ほとんどきかぬ車中で（話に花が咲いてあまり外を眺めていなかったようですが）

冷酒とビデオ（健全家族向きです）で過ごしたにもかかわらず、夕食は武田信玄ゆかりの美女？を多数待らすとの前宣伝に期待をかけ六時全員膳につく。

宴は形式ばらずリラックス・ムードの中、支部長の乾盃（スタート）の発声で、すでに用意された地酒、ウイスキーに喉をうるおす。間髪入れず期待外れの美女群に、深い溜息がもれる。



アア、今年もまた外れか……。そうは言っても一昨年の平均年令六十？才よりは少し良いではないか、何事も不自由を常と思えば、である。居ないよりましと思え!!

さすが先輩諸兄動揺落胆の色も出さず、日頃月謝の成果を披露せんものと自発的な発声でなごやかな一刻を過ごした。

宴会すんで第二ラウンドのナイトスポーツは如何ばかりか結果は知る由もないが、多分年令を考えば、プレーオフのちドロとなったであろう。聞かざる、言わざる、見ざるではなく知らざるである。

明けて一八日晴れ、これぞ晴天と言うべきでまさに観桜会にふさわしい朝となり、湖面の輝

きは醉眼にまぶしく、対岸の岡谷の街も指呼の間にあり、杖突峠からの眺望はまさしく絶句、の一語である。車は狭い道を曲がり曲がる。ようようにして高遠の町に入り、絵島終焉の囲み屋敷、また蓮華寺にその墓をたずね、男心に一同なにを祈ったのか、合掌のうちにいよいよ城跡公園へと向かう。月曜とは言っても人また人の賑わい（これが日曜だったらどうなるのかオマワリさん）に、いささか思惑が外れたがコヒガンザクラの見事さは、筆舌に尽くしがたく只々オドロキの目をみはるばかりで、各地からの客も花に浮かれ踊り、酔い陶酔の境をさまざまに歩くの感であった。

われわれ一行は、むしろこの光景を観客席から見ているようで、乱れなく静かに歩いていた。暮れて夜桜もと思う気持も、所詮叶わぬこと明日からはまた激しい日常業務に戻らねばならないと名残り惜しみながら、高遠を後にした。伊那北から一路東京へ、左に諏訪湖、八ヶ岳前に富士、右に甲斐駒ヶ岳をみながら、自分の靴がどれだったか忘れたり、メガネが歩いて人のポケットに入っていたり、熱い出来たてのマンジュウを口一杯にした、楽しい思い出をお土産に定刻六時三十分ピタリ八丁堀に着いた。

湊地区

景気浮揚お花見会

「春宵一刻価千金」とか、暖冬と云われて、過ごしやすかった一、二月が終り、弥生三月に入ってから肌寒い不順な天候で、桜前線も遅れ、不況風が拭えず四月を迎えた。

湊地区の定例会もこのところ一寸ご無沙汰で地区員の皆さんとも顔を合わせてないので、定例会を兼ねてお花見会をやるかと幹人の多い役員企画で、四月五日（火）皇居半蔵門近くの東条会館に会場を定め有志を募る。定刻午後六時三十分を少し廻ってから児玉支部長も見え、和気藹々のうちに開会、窓から壕端の桜並木を見ると、未だ五分味き程度だが夜の暗さの中に桜色の木立がかすかに眺められた、麴町の静寂な中を車のヘッドライトが交錯し、日比谷方面のビルの灯りが光っている。浅野地区長から簡単な組合関連の報告を兼ねた挨拶、児玉支部長のご挨拶に続き、新保副支部長の景気浮揚もまだまだだがお互いに協力して頑張ろうと乾杯の



(写真は編集部で後日撮影したものです)

割烹 ひさまつ

鍋料理 } 御宴会料理
 お刺身 } お一人様 ¥3,500より
 煮物 } 小人数から20人位まで
 焼物 } 受け承っております。
 酢の物 }

新富1-10-11
 TEL (551) 2985 (京橋税務所うら)



すいせんのことば 印刷会館のすぐ近くで、脱サラのマスターがいる。まだ年若い、気配りが気持ち良いお店。所望すれば、加山雄三によく似た声で、ギター片手に歌ともくれるが、一番良いのはギターで我々オンチに上手に伴奏をしてくれるところ。是非一度のぞいてみてはいかが？

湊地区 (株)大成美術印刷所 新保義人

音頭があり一同威勢よく乾杯、歓談にうつる。料理も和・洋・中華とバラエティーに富み味も良、酒・ビール・水割りとお好み次第、可愛い子ちゃん抜きなので歌までいかぬ替りに真剣な仕事の話しで時間が過ぎ、あっと云う間に九時閉会の時間である。聖文社の田島社長のお手を拝借で、お開きとなる。出席者のうち約半数の十四名は濛濛の桜を愛でつつワンカップをあけながら九段まで散策して帰途についた。忙中の閑、あせてみるもはじまらぬ、心にゆとりをもって業界の春が早く来ることを願った一夕でした。

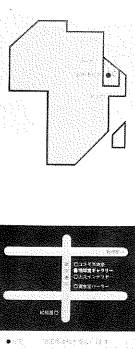
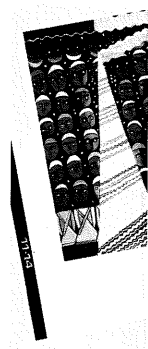
(濛濛地区通信員 中山英男)

濛 濛 地 区

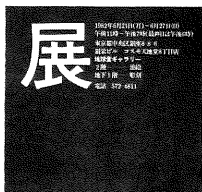
(株)大成美術印刷所
チラシ、DMコンクール入選

全日本印刷工業組合連合会の主催で行われた1983年、宣伝用チラシ、DMコンクールで当京橋支部、濛濛地区の(株)大成美術印刷所がチラシ、DM、それぞれの部で入選しました。全国から寄せられた作品の中から各部16点を選ばれ、4月15日から晴海で行われた画像表現技術産業ショーの会場にも展示されました。

ちらしの部で日本百貨店協会会長賞を受賞した「幼稚園おたより用箋」(写真)の入選理由「キャンディーのちらしであるが、広告は下1/2程度で、上はカレンダーと用箋になっている。レタリング、レイアウトともに可愛らしく、ひかえ目で、好感がもてる、秀逸なアイデアである。」DMの部受賞の作品(写真)は全日本印刷工業組合連合会奨励賞に選ばれました。



長 田 良 夫 展



DMの部 全日本印刷工業組合連合会奨励賞 オフセット枚葉4色刷、サイズ タテ22.3cm×ヨコ22.3cm 2ツ折り

ちらしの部 日本百貨店協会会長賞 幼稚園おたより用箋オフセット枚葉4色刷、サイズ タテ26.3cm×ヨコ36.0cm

業界の繁栄とともに歩む

- 東印工組幹旋融資取扱
- 東印工組小口融資取扱
- 全印健保指定金融機関
- 印刷厚生年金基金払込取扱

文化産業信用組合 京橋支店

〒104 東京都中央区八丁堀4-13-1 ☎551-9625(代)

すいせんのことば 組合関係一切をお願いしています。地域社会に密着した金融機関として大いに利用させてもらうつもりです。 新川地区 金山印刷(株) 金山耕二

47のビジネス封筒 名刺・カード・はがき

- 営業品目
- 事務用和洋封筒
 - 名刺用紙
 - 私製はがき
 - 招待状カード
 - マド付封筒
 - ROマド封筒
 - DM用封筒

株式会社 47 エニパック

- 本 社 東京都江東区永代1-2-1 電話(642)1141(代表)
- 配達センター 東京都江東区永代1-1-7 電話(643)3237(代表)
- 支 店 城南☎(727)4141 本郷☎(643)7461 城西☎(994)5151 浅草☎(643)7851
- 栃木工場 栃木県下都賀郡野木町友沼 電話02805(5)2100(代表)

すいせんのことば 東印工組京橋支部ユーザーのニーズに即応できる堅実なメーカーだと思ひ推薦します。 八丁堀地区 東京真宏印刷(株) 久保田幸一郎

随筆

田園の憂鬱

—— 田園だってアスファルトジャングル ——

新富地区 大東印刷工業株 岡野 滝雄

前回には田園が昔の匂いを失くしてしまったことについて、いささか感慨をこめて記したが匂が失せていくありさまは結構なのかもしれない。たい肥のむれた匂いとか、落葉の焚火のむせかえるような匂いとかいうものは、現代文明の社会では必要のない、遠い昔に置き去りにされてしまった行為なのかもしれない。

やがて夏が近づいて来ると田んぼにはカエルの大合唱が湧きあがり、田や畑の小径の草むらには夏虫たちの奏でる音律が夏の夜の一大ページェントをくりひろげたものではあったが、今では昔ほどの活発な動きはなさそうである。

秋ぐちなど黄金に輝く稲田に歩を踏み入れたとたん、イナゴの飛翔が眼前を覆ったものではあったが、それも今は昔の光景として心象に残るだけとなってしまった。時おりイナゴが出て来ましたがよというような言葉を耳にするけれど、田んぼのタニシやドジョウのような小動物と同じようにこれも昔日の感はもはやどこにも有りようのないものとなった。

農村の人たちはやはり便利で即効性の高い化学肥料が、たい肥の遅効性に比べても人気の絶大なのは人情としても当たりまえの理であり、金がかかるがそれなりの収穫が補償されるとなればなおさらであろう。ただ化学肥料の公害が近年になってあなどり難い大問題となって来た

ということだけなのだ。除草剤や駆虫剤を散布して多大の効果を上げたとたんに人間までも駆除されかねない結果をば知らずのうちに招来してしまったということにはほかならない。

文明の輝かしき進歩発展は田んぼの畦みちまでをアスファルトで舗装してしまっている。都会の人々のある人は畦みちまで舗装しなくともよいではと思うかもしれないが、事実カエルが素足で飛びまわれる場所は化学肥料と除草剤の漫延している田んぼの中だけである。本職の農村の人たちだって素足では真夏では無理である。焼けつくような太陽の下のアスファルト通路を素足で歩けるはずがない。市や県がかってに田んぼの畦みちをアスファルトで舗装したわけではない。農耕にたずさわる人々がそれを望んだのである。

田や畑では農耕機械が盛んに使われている。田んぼでは耕運機、自動田植機がそれであり、畑ではトラクターが使われている。これらの機械をふだんの畦みちから入れるとすると畦みちが破壊されてしまう。そこで考えたのが畦みちの舗装となったわけである。

都会人がたまに農村にやって来て、畦みちまで舗装されていることに文明開発のすさまじさに驚嘆するのであるが、もっともな理由がそこにはあるのである。

ワープロ組版システム

ワーディクス

Wordix 400 シリーズ

株式会社横河電機製作所

すいせんのことば 横河電機のワーディクス 400 シリーズは、その多能性をもった諸機能から、我々業界の発展への第一ステップの役割を充分果してくれるものと思います。

新川地区 三好印刷(株) 三好 徹

支部の動き

- 3月1日 本部支部長会、於日本印刷会館7階。
 3月3日 東京都印刷産業政治連盟発会式、於サンケイ会館、東印工組加盟数約450社、内京橋支部40社（2月25日現在）加盟。
 3月16日 部長、監査、地区長会、於支部会議室。支部長会報告、事業報告内容を協議。
 一、東京都政治連盟発足について、
 二、役員選任制の導入について、各支部の推せん委員は1名。推せん委員は総代である。又支部長はその任期中は総代となる。
 3月16日 京青会定例研修会、於東商中央支部「印刷技術の技術革新」、講師山本隆太郎氏、一般組合員、京青会員共50名参加。
 3月24日 支部三役会、於、支部会議室。通常総会の事業報告、事業計画の作成を行う。
 4月5日 支部長会、於日本印刷会館。
 4月8日 京橋支部印刷人青年会58年度定時総会開催。於、支部会議室。終了後「パソコン講座」を行う。講師、日本ソフトウェアサービス㈱、岡村五夫氏。
 4月11日 部長、監査、地区長会、於支部会議室。支部長会報告、通常総会の進行協議。
 一、新事業年度発足に当って松島理事長あいさつ。全印工連賦課金5多値上げ。東印工組は値上げなし。共助金値上げ希望。600円を900円に。従って弔慰金額

を30万円から50万円に増額支給する。
 二、役員選任制に係る諸規程の整備について、本部、支部規約の一部改定。

三、政治連盟常任会報告と当面の活動について、久永会長挨拶。加入促進依頼。

四、各委員運営と事業計画について。

五、京橋支部湊地区安靖社印刷所火災見舞に各地区より一組合員200円を集めて贈る事にする。

六、58年度支部行事について検討を行う。

4月15日 京橋支部通常総会開催、於日本印刷会館7階、90名出席。（別掲）

4月20日 顧問・相談役・参与の会、於支部会議室。26名出席。井上計後援会からの選挙資金寄附要請について協議し、顧問、相談役、参与及び執行部にて分担して寄附をする事になる。

支部組合員の異動

加入組合員（58年4月）

赤澤印刷㈱、赤澤忠文氏（入船地区）、入船

2-10-2

脱退組合員（58年4月）

中島印刷㈱、中島文人氏（入船地区）

火災見舞申し上げます

▼湊地区、安靖社印刷所、上原靖一郎氏の二階部分が3月26日に火事で焼失し設備も被水しました。

編集後記

◇暖冬とやらの影響か、雨にたゞられ、桜の花もつかの間に通りすぎてしまった感がある。

梅も桜もきれいに咲いてはくれたけれど、景気の花は、仲々、咲きそうにない。ツボミが出かゝる」との希望的観測はあるが、途中で落下しかねない。かぼそいツボミ”ではある。

◇今日の国際環境は、かつてない過酷なものとなりつゝあるように思われる。石油、輸出、輸入、円高、円安等、どれをとっても諸外国との関係なしには考えられない事は周知の通り。

最近、対日批判の声は、あちらこちらに高くなっている。それに対して、諸国との理解を深める努力と、適切な対応措置をとらない日本の態度。日本人は、世界の中の「異人」（ストレンジャー）の位置をしめる事になりはしないかと、昨今の世界の中の日本という考え方の再考を想う一人。

◇OAで印刷業が迫害されるか否かは、業界の考え方、取組み方で決まること。文字組版の最新設備を導入”は参考になったでしょうか。ワープロ、その使い方の速さ、文章作成力など腕前日本一を競う初のコンテストが東京で。

腕に自信の五百人が参加。将来はワープロ技能に検定、認定制度を設ける構想もあるとか。

◇世の中、変化という流れの加速度がついてきている。業界にじわじわとしのび寄る「企業間格差」という影の中にさらされていくのは瞭然とやら……。